

<ポイント版> ぎふ経済レポート（平成 27 年 5 月分）

【景況感】

景気回復の足踏みが続いている。

【製造業】生産、売上は輸送用機械関連を中心に好調を維持

○製造業全体では輸入原料の高騰によるコスト高が続いているが、輸送用機械関連を中心に受注や生産は好調を維持しており、大型の設備投資の動きも見られる。

【地場産業】依然として厳しい状況が続いている

○依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いているものの、生産に落ち着きを見せ始めた企業も一部で見られる。

【個人消費】消費の回復状況に頭打ちの感が見られる

○一部の企業で、売上が前年同月比を上回るなど、駆け込み消費の反動減によるマイナスが一巡した兆しが見られるものの、依然、景気回復により売上が上昇したと実感している企業は少ない。

【観光】インバウンドは好調を維持

○宿泊客数は、8割以上の施設で前年を上回っている。インバウンドは、特に中国（香港含む）、韓国、欧州からの観光客の増加により、前年比で好調を維持している。観光入込客は、天候不順の影響が大きく、前年比で若干減少した。

【雇用】一部の業界において人手不足が発生している

○雇用面では、大学・短大・高校卒業者の就職内定率が最近6年間で最も高い水準となるなど、新卒採用を拡大する動きが見られるものの、製造業の一部や建設業、非製造業では、人手不足に陥っている企業が見受けられる。

【設備投資】前向きな設備投資が同水準を維持、投資意欲は改善傾向

○設備投資の目的のうち、「生産能力拡大・売上増」といった前向きな設備投資が前月と同水準で推移し、「補修・更新」といったやむを得ない理由が増加した。設備投資意欲は改善傾向にある。

【資金繰り】資金貸付実績に下げ止まりの兆し

○企業の資金繰りは横ばい状態が続いており、新規借入れ需要は低調だが、下げ止まりの兆しが見られる。